

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	日本建築史小委員会	主 査 名：藤井 恵介
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：陣内 秀信
設 置 期 間	2001 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	日本建築史関係の研究。	
委員構成 (委員名(所属))	藤井 恵介(東京大学)、川本 重雄(京都女子大学)、佐藤 正彦(九州産業大学)、澤登 宣久(近畿大学)、高橋 恒夫(東北工業大学)、谷 直樹(大阪市立大学)、中川 武(早稲田大学)、西 和夫(神奈川大学)、波多野 純(日本工業大学)、羽深 久夫(札幌市立高等専門学校)、麓 和善(名古屋工業大学)、村田 健一(文化庁)、大和 智(文化庁)、吉田 純一(福井工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	日本建築史図集刊行WG	
2004 年度予算	230,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会は2会開催した。本年度と来年度の活動について、検討・議論した。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 主たる活動の一つに、シンポジウムを開催することを決定した。 今年度は、3月4日に、シンポジウム「日本建築の“様式”を問う」を開催し、日本建築史という分野における、様式概念の再検討に着手した。今後の研究活動に大きな一歩を記したと考える。 次年度も、一連のシンポジウムを開催する予定である。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本年度は、シンポジウムの開催によって、十分目標が達成されたと考える。
その他評価すべき事項	